



雑誌 子供の科学 電子復刻版

創刊100周年を記念してMeLにて2024年1月発売開始予定
初回提供は1924年の創刊号から1934年9月号までの10年分です

1924年～1934年 10年分セット (商品コード: 1038030503)

100周年記念特別価格(2025年1月終了予定)

同時1アクセス: 本体価格 198,000円

同時3アクセス: 本体価格 396,000円



創刊号 表紙 (1924年)

- 関東大震災の翌年、1924年に創刊した子供の科学は、最先端の科学技術も取り入れて復興する東京で誕生しました。次々と登場する最新技術を、豊富な写真と詳細な解説で紹介されています。
- 特に1924～1934年の誌面では、都市の交通や自動車、鉄道、欧米の建築技術、ラジオ放送の開始や電話、テレビなどの情報通信技術の記事は、一流の技術者、専門家が詳しい図面もつけて紹介しており、子供雑誌ではありますが、当時の最先端の内容が詰まっています。
- 1930年代に入ると、戦争に関する技術の記事が多くなってきます。特に航空機や空母の写真、図面が誌面を飾り、各国の航空技術の比較や日本の技術の現在地について、科学が好きな子供たちも大いに関心を寄せていたことがわかります。

●創刊号 この雑誌の役目
創刊号の冒頭にある初代編集長・原田三夫の「この雑誌の役目」は、100年後の今も受け継がれる『子供の科学』の編集方針



●牧野富太郎先生連載
1925年には植物学者の牧野富太郎先生の連載がスタート。

●テレビジョンの実現 (1929年3月号)
当時のテレビを描いた表紙。



各号の主な特集記事

1924年(大正13年)

- 10月号 (創刊号) 乗り物の王様 自動車はどうして走るか?
- 11月号 数百万年前地球上に栄えた大怪物
- 12月号 機関車のできるまで

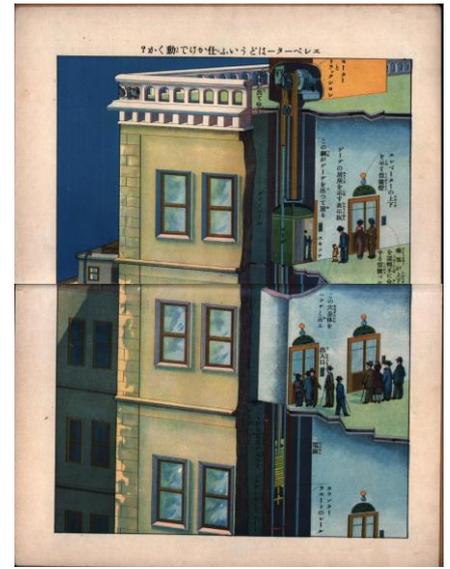
●表示価格は税抜きです。

1925年(大正14年)

- 1月号 電車の解剖
- 2月号 英国の大型乗合飛行機で示した飛行機的主要部分
- 3月号 自動車の転覆を撮った珍しいフィルム
- 4月号 石炭はどうして掘り出されるか
- 5月号 花くらべ (牧野富太郎) ※連載開始
- 6月号 無線電話の送る仕かけと受ける仕かけはどう働くか?
- 7月号 羅針盤とはどんなものか
- 8月号 日本北アルプス 槍が岳に登れ
- 9月号 オーロラの下へー北極探検物語り
- 10月号 火の海から人間のできるまで
- 11月号 パリで初れられる宙のり鐵道
- 12月号 百哩保証 一球再生式受信器の作りかた

1926年(大正15年-昭和元年)

- 1月号 温室の話
- 2月号 潜水艇の断面図
- 3月号 水力で発電されるまで
- 4・5月号 (合併号) 炭酸ガスの驚異
- 6月号 悲絶壮絶 ああ南極探検隊
- 7月号 エレベーターはどういふ仕かけで動くか?
- 8月号 世界の最高峰 エヴェレスト探検
- 9月号 大日本中部地質地図
- 10月号 珍しい自動車の展覧会
- 11月号 天気図のつくりかた
- 12月号 進化論ものがたり

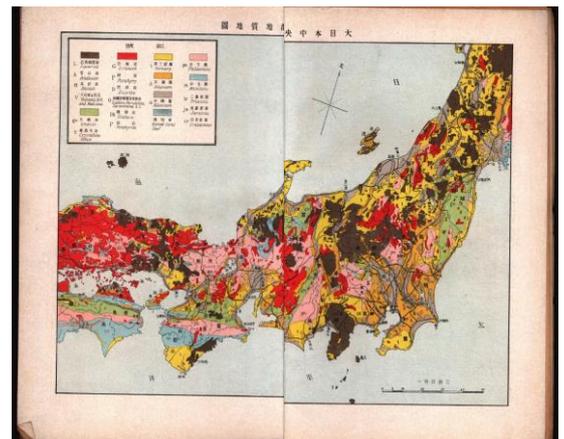


●エレベーターは
どういふ仕かけで動くか?
(1926年9月号)



●英国の大型乗合飛行機で示した
飛行機的主要部分(1925年2月号)
飛行機の最新技術は毎号のように掲載されている。

●表示価格は税抜きです。



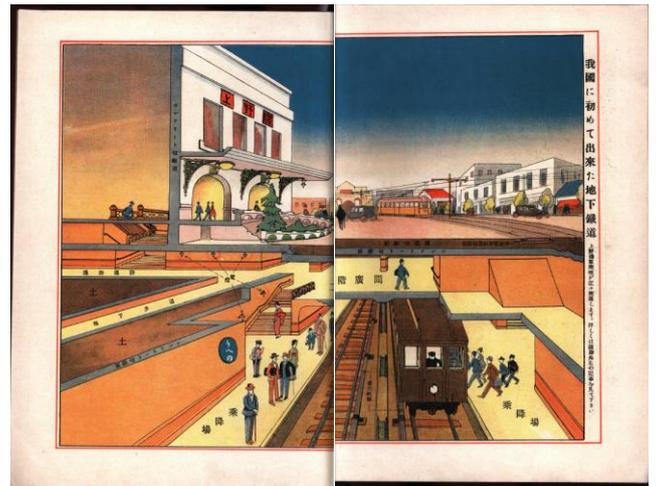
●大日本中部地質地図 (1926年9月号)
さまざまなジャンルの詳細なカラー図版も収録。

1927年(昭和2年)

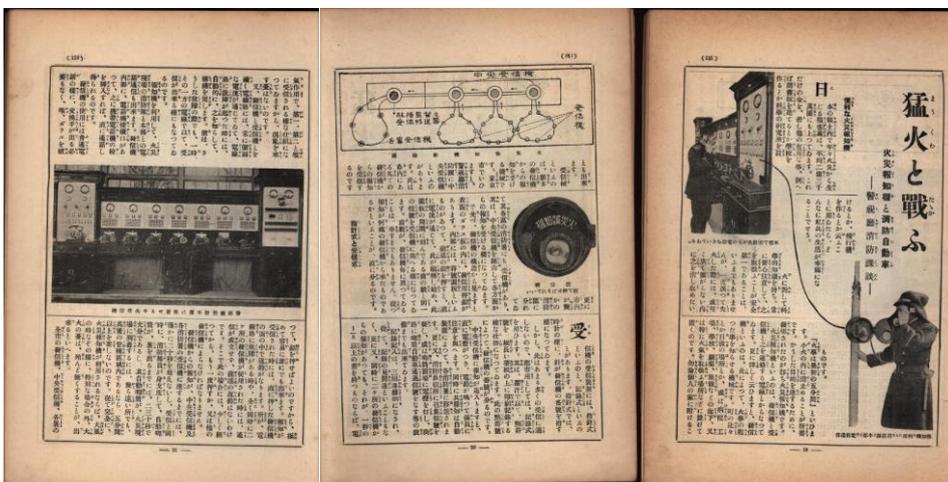
- 1月号 ダイナモやモーターの原理となる感応電流とは何か
- 2月号 猛火と戦ふ (火災報知機と消防自動車)
- 3月号 鉄筋コンクリートの建築 (内田祥三工学博士選)
- 4月号 欧米飛行界の驚異
- 5月号 日本は世界の地震国 何故地震が起るか
- 6月号 鉄の出来るまで
- 7月号 テレビジョンの発明
- 8月号 北アルプス登山地図
- 9月号 月世界旅行の計画
- 10月号 誌上動物園
- 11月号 我国に始めて出来た地下鉄道
- 12月号 電気はどうして起るか

1928年(昭和3年)

- 1月号 未来の戦争は科学戦
- 2月号 大洋横断飛行機の構造
- 3月号 三色版の出来る迄
- 4月号 機械工業のいろいろ
- 5月号 一億年前の三ツ目の怪獣
- 6月号 科学の驚異機械人
- 7月号 電送写真機 (丹羽保次郎)
- 8月号 東京天文台見学
- 9月号 蓄音機の構造
- 10月号 渡り鳥の話 (内田清之助)
- 11月号 五千年前の文明 (一氏義良)
- 12月号 西洋の子供の理科研究 (西山哲治)



●我国に始めて出来た地下鉄道 (1927年11月号)



●猛火と戦ふ (1927年2月号)

関東大震災からの復興で力が注がれた、防災や交通網の整備に関する記事も多数。

●表示価格は税抜きです。

1929年(昭和4年)

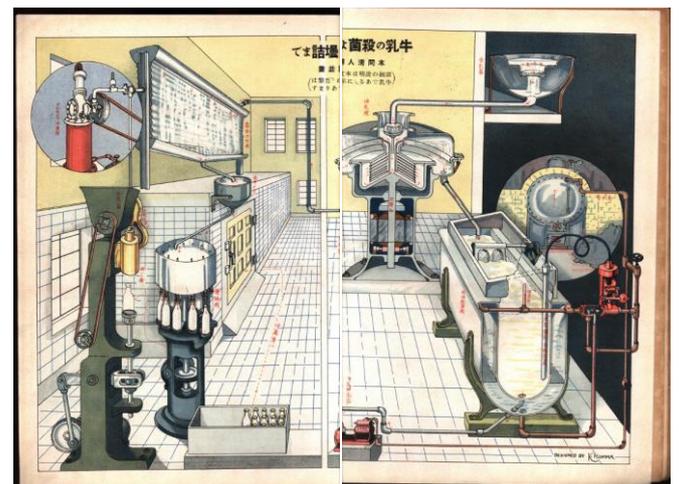
- 1月号 大西洋横断のツエツペリン飛行船
- 2月号 原始人類と氷雪時代
- 3月号 テレヴィジョンの実現
- 4月号 人間が始めて出た所
- 5月号 大昔の新聞と将来の新聞
- 6月号 エスカレーターとその構造
- 7月号 起重機のいろいろ
- 8月号 夏の胃腸の衛生
- 9月号 宇宙はどこまで続く
- 10月号 光! 光は将来の霸王
- 11月号 動く模型の展覧会
- 12月号 新しい住宅 (今井兼次)



- エスカレーターとその構造 (1929年6月号)
青焼き図面による本格的な構造説明が、
当時の『子供の科学』の特徴。

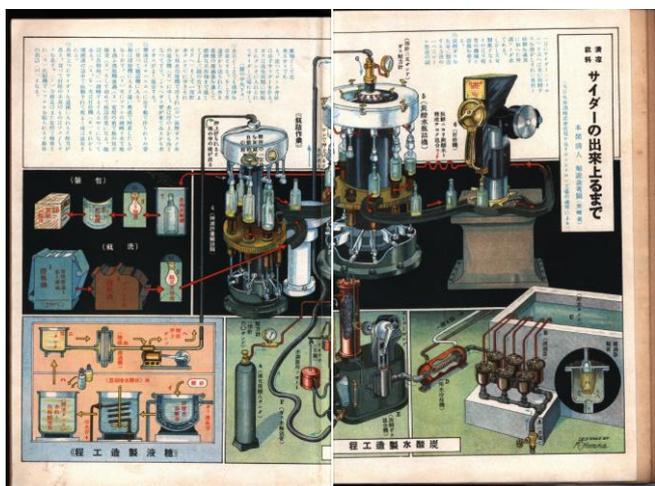
1930年(昭和5年)

- 1月号 未来の都市はどうなるか
- 2月号 スキーの歴史と発達
- 3月号 我輩は牛乳である
- 4月号 模型電気機関車製作教室コントローラーの作り方
- 5月号 科学の殿堂慶応義塾大学
- 6月号 世界各国の博物館
- 7月号 海底撮影
- 8月号 山の地図ブロックダイヤグラムの書き方
- 9月号 清涼飲料サイダーの出来るまで
- 10月号 色とりどりのネオンサイン
- 11月号 世界最大の潜水艇
- 12月号 面白い化学実験



- 我輩は牛乳である (1930年3月号)

- 清涼飲料サイダーの出来るまで (1930年9月号)
1930年からは、さまざまな企業の
工場見学記事が増えてきた。



- 表示価格は税抜きです。

1931年(昭和6年)

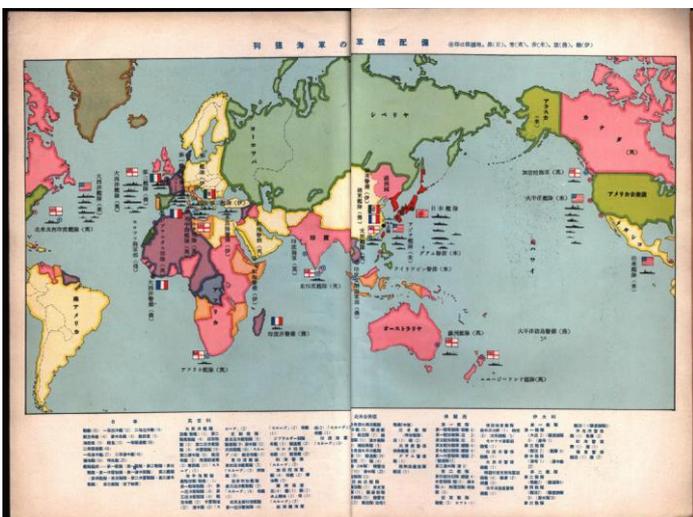
- 1月号 無線万能時代になったら
- 2月号 科学小説 怪星襲来 (波野白跳)
- 3月号 元素の週期律とは何
- 4月号 なぜ数学は大切か
- 5月号 骨格標本の作り方
- 6月号 世界一のエムパイヤー・ステート・ビルディング
- 7月号 理化学研究所の研究発表講演会
- 8月号 プロペラの話 (河田三治)
- 9月号 天気予報の出るまで
- 10月号 空の王者来る (リンドバーグ)
- 11月号 物質の放射能とは何か
- 12月号 発明王エジソンの生い立ち画伝

1932年(昭和7年)

- 1月号 将来の大東京市
- 2月号 満蒙の地勢・地質・風土
- 3月号 X線写真集
- 4月号 列強海軍の艦隊配備
- 5月号 火薬の爆発力
- 6月号 眼鏡のレンズの出来るまで
- 7月号 旅客飛行機から地上の見方
- 8月号 開通したお茶の水・両国間の高架線
- 9月号 太陽系はどうして出来たか (小川清彦)
- 10月号 オリンピック入場式の壮観
- 11月号 我国の民間飛行
- 12月号 今年のラヂオ界にあった事柄



- 将来の大東京市 (1932年1月号)
未来予想図が表紙やグラビアを飾ることも多かった。



- 列強海軍の艦隊配備 (1932年4月号)
世界の列強国海軍の艦隊配備をカラー図解。

● 表示価格は税抜きです。

1933年(昭和8年)

- 1月号 世界一の集まり
- 2月号 ビルディングの暖房と地球の暖房
- 3月号 国際無線電話の開始
- 4月号 完成に近づく米海軍の大飛行船
- 5月号 三陸地方の惨害の跡を訪ふ記
- 6月号 オートジャイロの作り方
- 7月号 極められんとするエヴェレスト
- 8月号 空襲に対する都市の防御
- 9月号 星の質量や大きさはどうして測るか
- 10月号 世界優秀蒸気機関車写真集
- 11月号 潜水艦と潜水母艦
- 12月号 電気推進船ノルマンディー号

1934年(昭和9年)

- 1月号 無線電信の恩人マルコニー侯を迎えて
- 2月号 電気足温器の作り方
- 3月号 ばく進する流線形列車
- 4月号 世界に誇る日本文化の長所
- 5月号 近代築城技術の粋を集めたフランス国境の新要塞
- 6月号 めざましい飛行機の進歩
- 7月号 日本でも撮れた宇宙線の写真
- 8月号 いよいよ近づいた成層圏探検
- 9月号 六萬二千五百キロの電力を起す日本一の大発電機



●いよいよ近づいた成層圏探検
(1934年8月号)
1934年7月に行われた
ステーブンスの成層圏調査。



●極められんとするエヴェレスト
(1933年7月号)
前人未踏のエベレストをどう征服する
かは当時の注目トピック。
エベレスト挑戦への装備の図解も。



●電気推進船ノルマンディー号
(1933年12月号)
1935年から竣工されたフランス
の豪華客船ノルマンディー号を
1933年にいち早く特集。

●表示価格は税抜きです。



● 発明王エジソンの生い立ち画伝 (1931年12月号)
エジソンが亡くなった1931年。その偉業を写真や図面で8ページにわたって特集。



当時海外からやってきた最新トピックもいち早く掲載

● 一億年前の三ツ目の怪獣 (1928年5月号)

● 科学の驚異機械人 (1928年6月号)



● 進む流線形列車 (1934年3月号)
空気抵抗を減らす流線形列車は1930年代から開発が始まった。

● 表示価格は税抜きです。